

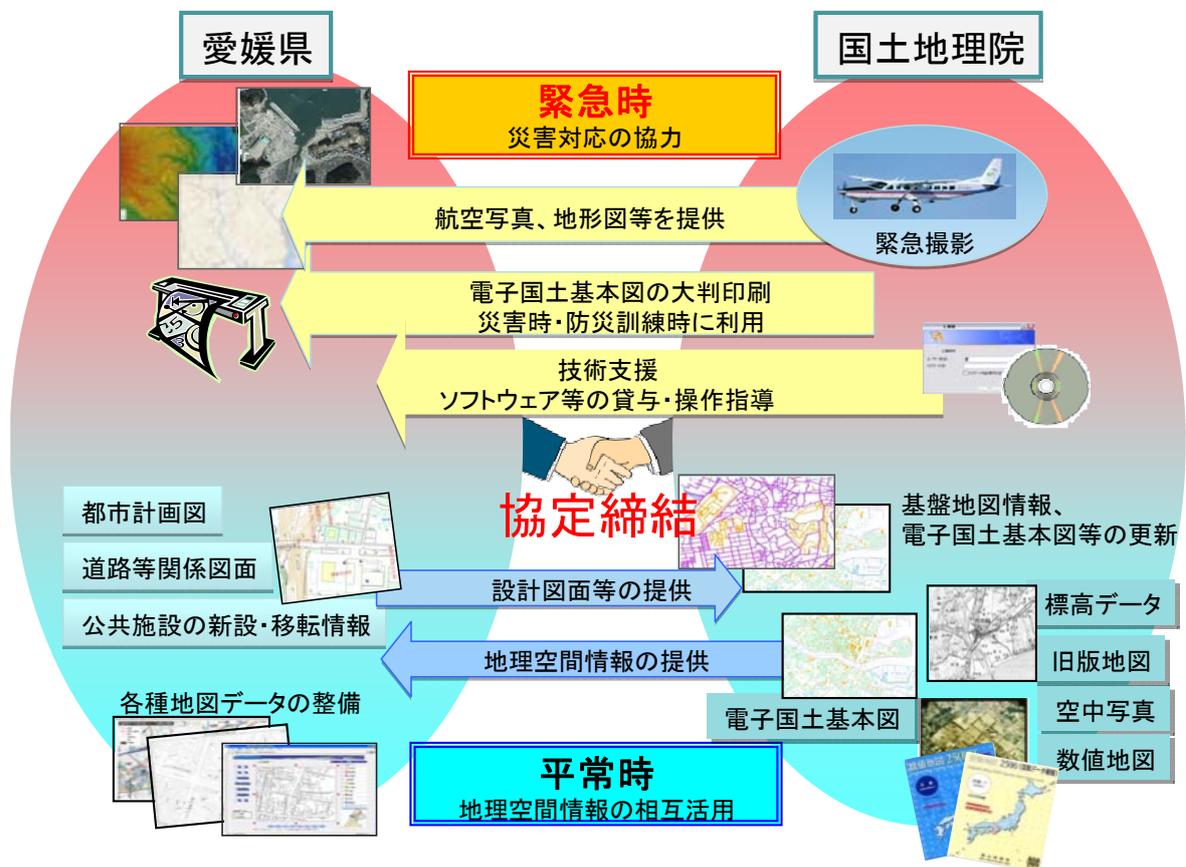
# 国土地理院との地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定について

県と国土地理院は、それぞれが保有する地理空間情報の相互活用を推進し、平常時に加え大規模災害時にも連携・協力を強化するため、協定を締結しました。

## ○ 協定締結の目的・メリット

### 目的

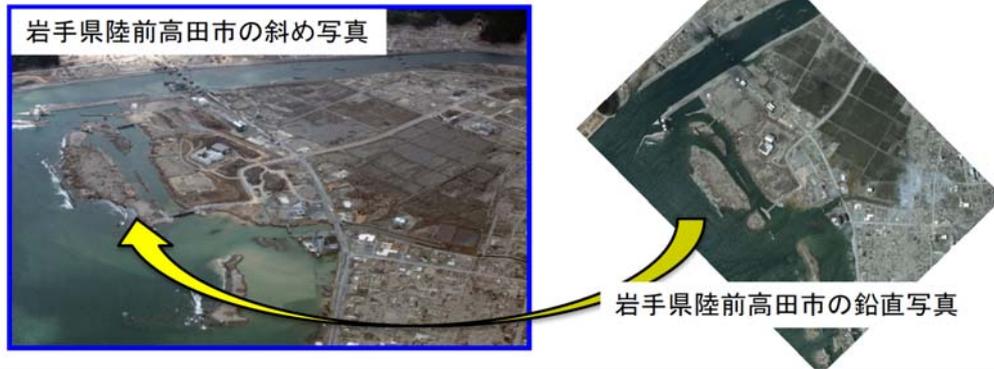
国土地理院、県が保有する地理空間情報(地図や空中写真などのデータ、道路や公共施設等の新設情報等)の相互活用や、災害時における協力・連携により県民の利便性向上や地域の安全安心の確保を目的とする。



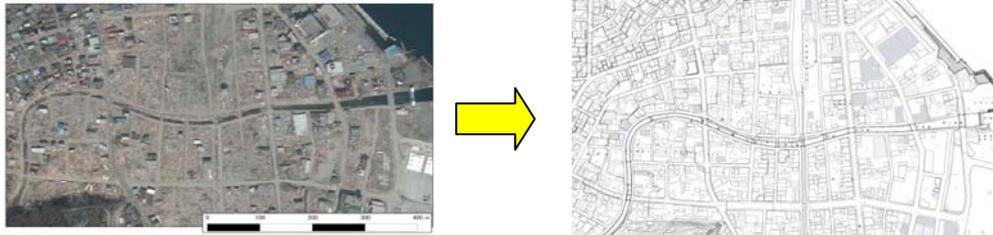
## メリット

### 《緊急時》 大規模災害時に被災地域の航空写真や地形図等のデータが迅速に提供される

- 被災地域の航空写真(鉛直写真、斜め写真)の提供により、被災直後の状況を広範囲に立体的に把握できるため、住民の避難や道路啓開などのスピーディーな防災対策が可能となる。

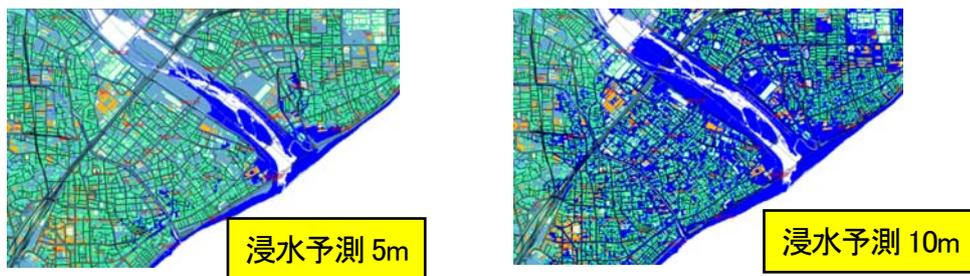


- 被災後の地形図が早期に入手可能となり、的確な復旧計画策定や応急復旧工事が可能となる



### 《平常時》 様々な地理空間情報を行政サービスに利用できる

- 国土地理院保有の地理空間情報に含まれる詳細な標高データを利用し、浸水予測を行うことができる



- 国土地理院に蓄積されている過去の地形図や航空写真により土地の変遷を把握し、液状化対策や効果的な土地利用に活用できる

